

先進が定番に！？

最新機種2台を体験して わかったこと

[体験レポート]

通信AVの 現在地



一部の先進AV機器のみに与えられていた通信機能の壁が、このところ、崩れつつある。カーナビにディスプレイオーディオと、共にオンラインを前提にした新基準機が登場。注目すべきは、ともにトップエンドではなくスタンダード機という点だ。つまり、まさに今が、これから広く普及しようとする上でのターニングポイントにもなり得る。ここでは発売間もない注目の2モデルを実機体験。将来を先取りする意味でも、その見どころを確認しておこう。

TOPICS #1

オンライン対応カーナビ

現代ニーズにかなう
使いやすさと便利さ



あの楽ナビが オンライン対応に

先号で報じた通り、パイオニア・カロツェリアから新製品が発表された。今回の企画の発端はここにある。数多く発表されたその顔ぶれのなかでもとりわけ目を引いたのは、あの「楽ナビ」のニューモデルだ。

楽ナビと言えば、市販カーナビ全体のど真ん中でもあり、顔役でもある。その楽ナビがついにオンライン化を果たす意味合いは大きい。トップエンド機であるサイバーナビの専売特許だったオンライン対応の冠が、楽ナビにもつく。言い換えればこれは、オンライン・カーナビのスタンダード化に

もつながる重大ニュースだ。

前世紀となる1998年に誕生した楽ナビは、その誕生から「高性能×使いやすさ」を掲げており、それはニューモデルにも受け継がれている。だからこそというべきか、楽ナビのオンライン化は必然だったのかもしれない。

お馴染みとなった独自のリアルタイム走行&交通情報「スマートループ渋滞情報」を取得できることは元より、地点検索するにしても、オンラインを前提とすればその範囲は膨大に広がる。地図更新ひとつとってみても、メ



ネットワークスティック付きモデルの場合、年2回配信される自動地図更新を最大3年間・5回分まで無償で行える。付属なしのスタンダードモデルでも、別売の『ND-DC4』を追加購入することで、無償地図更新が1年間可能になる。

carrozzeria

楽ナビ AVIC-RF920-DC

価格：オープン（実勢価格：18万円前後）

◎ パイオニア ☎ 0120-944-111
carrozzeria.jp

ネットワークスティック同梱モデルが5機種、単体モデルが10機種の、計15からなるラインアップ。モニターサイズは9型から7型まで分かれており、7型では200mmワイドタイプも選ぶことができる。テスト機はラインアップ中唯一となるフローティングタイプだ。